

感情マップ & モード / コードテンション解説

Verse 1

- **Emotion:** quiet_pain_and_nascent_strength
- **Mode:** D Dorian (希望を含んだ哀しみ)
- **Tensions:** m7, add9
- **解説:** 傷つきながらも立ち上がろうとする心。Dorianは“哀しみと光”の狭間を表現するのに最適。9thが未来への視線を与える。

Pre-Chorus 1

- **Emotion:** emotional_realization_and_gratitude
- **Mode:** G Lydian (覚醒、感謝)
- **Tensions:** M7, 13th
- **解説:** 「気づき」がテーマ。Lydianは“上昇感”と“清涼感”を兼ね備え、感情の目覚めを演出。13thは思慮深さと優しさ。

Chorus 1

- **Emotion:** love_and_resolution
- **Mode:** C Ionian (主調：明確な決意)
- **Tensions:** add9, M7, 13
- **解説:** 決意と愛。Ionianで安定感を、9thと13thで優しさと情熱を加える。Cadd9 → G13 などの進行が映える。

Verse 2

- **Emotion:** regret_and_internal_conflict
- **Mode:** A Aeolian (内省的、後悔)
- **Tensions:** m7, sus2
- **解説:** 不器用な自己。Aeolian (自然短音階) は後悔と弱さの代表。sus2で未熟さ、m7でメランコリーを演出。

Chorus 2

- **Emotion:** emotional_confession
- **Mode:** C Ionian (継続)
- **Tensions:** M7, add11
- **解説:** 正直な告白。コードは柔らかく、明るい響きのままに、声を振り絞る感情を包む。11thは淡い痛みの余韻。

Interlude (間奏)

- **Emotion:** reflection_in_absence
- **Mode:** E Phrygian (不安、内省)
- **Tensions:** m7, b9
- **解説:** 余韻と空白。Phrygianの半音下げ (b2) で不安定さ、b9で“問い”のような響きを。前後と緊張差を出す。

Bridge 1

- **Emotion:** emotional_storm_and_need

- **Mode:** B Locrian (壊れかけた信頼)
- **Tensions:** b5, m7b9
- **解説:** 嵐の夜のイメージ。Locrian は不安定で滅多に使われないが、「嵐」「負けない」などの表現に合う。b5 の崩壊感。

■ Verse 3

- **Emotion:** frozen_emotion_and_memory
- **Mode:** D Aeolian (悲しみ)
- **Tensions:** m7, add9 (やや控えめ)
- **解説:** 涙の回想。音数を減らして余白を残すと良い。9th は記憶の反響、m7 は「まだ残る痛み」。

■ Pre-Chorus 2

- **Emotion:** bittersweet_reconciliation
- **Mode:** G Mixolydian (愛の未完成)
- **Tensions:** 7th, sus4
- **解説:** 崖へ進む比喻が強烈。Mixolydian の甘くて切ない響き。sus4 は未完の想い。

■ Chorus 3

- **Emotion:** need_and_fragility
- **Mode:** C Ionian (継続)
- **Tensions:** add9, M7, 13
- **解説:** Chorus 1 と同型だが、より繊細なアーティキュレーションが必要。velocity 下げたり、onset 早める。

■ Bridge 2

- **Emotion:** dawn_and_support
- **Mode:** E Lydian (希望と新章)
- **Tensions:** M7, 13, sus2
- **解説:** 夜明けを信じる場所。Lydian は夜明けと調和しやすいモード。13th が包容力を、sus2 が純粋さを添える。

■ Verse 4

- **Emotion:** light_and_nostalgia
- **Mode:** F Ionian (穏やかな終章)
- **Tensions:** add9, sus4 (やや柔らかく)
- **解説:** 君に似た光、風、葉音。Ionian でやさしく、自然な終焉へ。add9 で“もう一度始められる” 気配。

■ Chorus 4

- **Emotion:** coexistence_and_future
- **Mode:** C Ionian (未来への希望)
- **Tensions:** add9, M7, 13 (解放感)
- **解説:** ぶつかりあいながらも、支え合い進む。コードは厚みをもたせつつ、明るさで包む。終止に向けたクレッシェンド構造。

すべての歌詞 Section について、モード chord を解説した感情 map をつくってください。

おれの女房 歌詞

(Verse 1)

誰もが抱える心の傷
それでも生きて立ち上がらねば
二人は何度も壊れて
いつか遠く離れてしまう

(Pre-Chorus 1)

けれどここまで来るのには
僕には君が必要だった
貧しい日々の支えだった
逃げずに来れたのは君のおかげ
気づくのが遅かった それはごめん

(Chorus 1)

愛と苦しみは同一なのか
ならばどちらも抱えていこう
失ってもまた見つければいい
答えはあると信じてる
どんなに遠く離れても
君は俺の女房

(Verse 2)

不器用で絵も描けない
人のせいにしてばかり
追い詰められては背を向けて
でも心のどこかで分かってた
気づかないふりをして
逃げたことはそれはごめん
君は待っててくれると思ってた

(Chorus 2)

僕が立ってるのは君のおかげ
言葉に出せなくてそれはごめん
苦しい夜の灯火だった

(間奏)

(Bridge 1)

愛が流す涙は辛い
俺の女房の言葉は辛い

嵐の夜は風が強い
俺の女房に負けないくらい
乗り越えるには君が必要
だからいつでも待ってほしい

(Verse 3)

忘れられないあの日の涙
君が背を向けたその瞬間
何も言えずに立ち尽くしてた
君は強いと思ってた

(Pre-Chorus 2)

君と僕が歩いた道
ちょっと険しすぎたかな
君はいつも前だけ見てる
僕は後ろで迷ってた
君は僕の背中をどやす
先が崖でも構いはしない

(Chorus 3)

痛みで強くなるならば
受けたいけれど君がいないと
だから隣にいてほしい
だって君は俺の女房

(Bridge 2)

夜明けがまた来るだろう
そこで君は待てばいい
道が絶えていなくても
背中を押す人がいる

(Verse 4)

雲の切れ間に差し込む光
ちょっと君に似ているかも
風に揺れる葉音の中
君に怒られているみたい
静寂に紛れる言葉の群れが
いつかの様に心を揺らす

(Chorus 4)

弱さも強さも僕たちの糧
愛とは簡単なものじゃない
新しい光が見えるまで
君と歩く道を選びたい
ぶつかり合い支え合い
傷だらけの今だからこそ
先の未来を探せるだろう きっと

